

もりのにぎわい通信

2014年12月13日 定例活動報告

日時：2014年12月13日（土）9：45～15：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温10～12℃ 湿度46% 風向 西南西 風速10m

定例会参加者：22人：子供10人、大人12人（小山町・土地改良区0人）

■ 活動

9：45 受付

10：00 集合 連絡事項

10：20 作業開始

松の枝伐り

材料の竹を選び竹の切り方を聞く

11：00 門松の制作開始 材料 竹：長さ1m×6本、または3本

菊鉢：大2個、または小2個、1個

松、鉢の周りに巻く畳表、ナンテン、シュロ縄

水炊きの準備

12：30 昼食

13：30 集合写真

14：00 畑・パーゴラの整備と草取り

14：30 後片付け

15：00 解散

■ 活動報告

週末は、寒波到来のお天気予報でしたが、時折北風が吹くものの穏やかな日和でした。

今回の門松作りは、一週間前に竹をスタッフ6人がかりで10本程伐り出し、大体1mの長さに55本～60本くらい切る作業をしました。また、現地で調達できる松以外の竹やナンテン、畳表は、活動協力としてご提供いただいたものです。

門松の作り方の指導は、昨年お世話になった川井様に竹を伐り出す作業の際に竹の切り方のコツを教えていただきました。竹を鋭角に切るのは、中々難しくかなり技術を要することが分かりました。ノコギリも竹伐り専用の物でないとノコギリが滑ってうまく伐れないとの事。

当日、竹専用のノコギリを他団体から活動協力としてお借りしました。

こうして、材料、道具が準備万端整ったところで、親子チーム、母娘チーム、男性ペアチームが、門松の顔となる竹切りが始まりました。

門松作り初挑戦の皆さんは、とても初めてとは思えない手際（勘）の良さで、あっという間に3本の竹が、バランスよく菊鉢に納まりました。続いて菊鉢の中にビニール袋を敷き、土を入れてナンテン

と松の飾り付けをしてお昼前にほぼ完成しました。最後の畳表は、家で水の入ったバケツに20分位浸して菊鉢に巻き底の部分を広げて仕上げます。

自然の材料を使うので、材料の良し悪しはあったと思いますが、そこは、家族のチームワークと腕でカバーできていました。

お昼に博多風“水炊き”をみんなで美味しくいただきました。また、釜戸の残り火で焼き芋をして子ども達のおやつに・・・。「焼き芋が焼けました！食べたい人！」の声掛けにハンモックで遊んでいた子ども達が一斉にサッと居なくなったのに（笑）。

午後からは、畑とパーゴラの整備と草取りをして解散となりました。出来上がった門松と一緒に記念撮影は、どことなく達成感が表情に表れているようでした。そして、残念ながら、今回参加出来なかった皆様、来年、是非挑戦してみてください。それでは、門松を飾って良い新年を迎えられますようお祈り致します。

記録：星野 静枝

<門松の作り方>

- 1 切り出した竹を3本用意します。
- 2 切り口を鋭角に切り落とします。
始めは竹に対して平行に、そこから前に倒して下の切り口を切ってから上の切り口に向かって切り落とします。
- 3 切った竹を組み合わせ、一番短い竹に合わせて切り落とします。
- 4 縄で縛って固定します。
- 5 組んだ竹を植木鉢に入れ土を入れて固定します。
- 6 バランスを見ながら松の枝、南天を差し込みます。
- 7 植木鉢に畳を巻き縄で縛ります。
- 8 手前に梅結びを作って完成。

[石阪さんの図解 PDF](#)

記録：石阪 嘉康

<活動協力>

竹：板倉町加藤様、ナンテン：茂原市真名 大和久様、畳表：市原市金剛地 大塚畳店様、ノコギリ：グループ2000
お陰様で、皆様のご協力により立派な門松が出来上がりました。心より感謝申し上げます。

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、1月24日（土）予定。除草作業、倒木・間伐材の整理、千の苗移植、落ち葉堆肥場の整備、他の作業を行う予定です。



出来上がった門松と記念撮影



竹の切り方の説明





門松作り初挑戦



お母さん、頑張って！



母娘の息も合って



竹を鋭角にあと一息



子ども達がお手伝い



こんなに上手に切れました。



松やナンテンの準備



飾り付けはお母さんに任せて



仕上げは家族全員で・・・。



竹の切口が美しい完成が楽しみ！



お手伝いの合間にハンモック



完成した門松



パーゴラの周りのネットを外す



焼き芋が美味しそう



モミの木にクリスマス飾り



完成した門松の作品例